

## よくある質問 FAQ

## 学校の経営方針

Q1：貴校は外部からの生徒がとても優秀と存じますが、学習や生活面などで、生徒の半分を占める内部生との間での隔たりなどはできないのでしょうか。また貴校はとても特徴的な教育をされていると存じますが、大学受験の対策はきちんとなされるのでしょうか。

A1：一般中からの進学者は附属中からの進学者の約半数です。

附属中は3校でそれぞれに特有の教育課程があります。また、附属中では高校の授業内容の先取りはありません。したがって、一般中からの進学者と附属中からの進学者に、個々の特質の違い以外に隔たりはありません。

SSHや探究活動や実験を重視する等の特徴はありますが、一方において文部科学省の指導要領に則った学習はきちんとしているので、大学受験に困ることは無いと思います。

Q2：都立トップ校、国立他校と比較しての特色をぜひ伺いたいです。

A2：実験・実習・フィールドワーク重視、探究活動の質と量 学校紹介動画（校長による学校説明）をご参照ください。

## 学習指導・教育課程

Q3：高入生と内部生との差(勉強の進度の遅れなど)はどのように埋めているのでしょうか

A3：進度に特に差はありません。授業でわからないことがあれば、個別に対応しています。

Q4：理数系と文系はいつ頃別れますか？

A4：3年生になると進路に応じた選択科目で授業を受けることが多くなりますが、ホームルームは2年生の時と変わらないで、必修科目の授業はホームルーム単位で受けます。

## 進路指導

Q5：大学入試への取り組みについて教えてください。

A5：以下の5点により、大学受験に必要なかつ十分な基礎学力を養成しています。

- 1 総合的な学力を高めるカリキュラム。

2年生まで全ての教科を必修とする教育課程を履修することで、教科統合的な高い教養を身につけることができます。実験、実習、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートといった主体的・対話的で深い学びが重視され、教科の特性に応じて日々行われています。

2 基礎学力を保障する補習、追試、個別指導。

小テストに合格しない生徒のための追試や、定期試験前に必要とする生徒に対する補習を通して基礎学力を全ての生徒に保障すると同時に、大学受験に求められる個別の添削指導を日々行っています。長期休暇や入試前の特別授業も充実しています。

3 伝統ある本物教育・教科行事。

本校のいわゆる「本物教育」は「学び」の根幹に触れ興味を深めます。「本物教育」を学ぶことで、教科の本質を理解し、将来どのような学問分野に進むのか、学問へ向かう原動力が生まれます。例えば地理実習では皇居（江戸城）の周りを16キロ自分の足で歩きます。また城ヶ島で地学実習をする実体験をはじめ、根幹から学問を追究する原動力が生まれる機会が多くあります。

4 卒業生によるキャリア教育サポート。

年数回ある進路講演会では社会で活躍する卒業生や本校を卒業し様々な大学で学ぶ大学生が講師になります。過去、文武両道の本校風格のあるこの学び舎で学んだ先輩たちは、将来の自分の姿であり、ロールモデルです。特に海外大学ガイダンスや医学部ガイダンスが卒業生のプレゼンテーションやディスカッションで成立するのは、伝統校ならではの特徴です。

5 業者模試の実施。

各学年で業者模試を実施し、学力を測ります。この結果をクラス担任、教科担任、進路指導部、管理職が共有し、進路指導に生かしています。特に3年次の志望校決定や判定には欠かせないものです。業者模試以外に、本校独自の校内作成実力テストも実施しています。

Q6：自習室はありますか？

A6： 本校は空き教室はすべて自習室です。図書室をはじめ、普通教室も特別教室も、あいていれば自習室として自由に利用できます。教科ごとの研究室に生徒たちが気軽に訪問し、個人指導を受けることもできます。

Q7：医学部医学科受験のためにどんな指導をしていますか？

A7： 医学部医学科受験にまず求められるのは各教科の圧倒的な基礎学力です。本校では上記2で挙げたように、日々の授業における小テストや補習等を通して基礎学力の定着を図っています。さらにレベルの高い講義形式の授業や上記3で挙げた主体的・対話的な学びを通して、医学部受験に対応できる応用力・実践力を磨いていま

す。

さらに、医学部ガイダンスを年に2回実施します。ロールモデルとなる本校の卒業生医師や医学部学生から現場の体験を聞くことができます。毎年医学部医学科に多く進学している本校だからこそ経験できるキャリアガイダンスです。

## 留学

**Q8：在学中、1年間の海外留学をした場合、帰国後の学年はどのようになりますか。（3年で卒業が可能でしょうか。）**

A8：本人の希望や在学中の成績により、在籍学年に戻ることができる留学と、休学をして留学をする2つの方法がございます。休学の場合は、学年が現級留め置きとなります。詳しくは入学後にご相談下さい。

**Q9：短期留学制度などあれば、知りたいです。**

A9：本人の希望や在学中の成績により、在籍学年に戻ることができる留学と、休学をして留学をする2つの方法がございます。留学の制度は1年間ですので、短期留学の場合は休学をして参加をすることになります。なお、休学の場合は、学年が現級留め置きとなります。詳しくは入学後にご相談下さい。

**Q10：各学年の留学者（日本から海外へ）の割合。また実際どのような国に、どのようなプログラムで行っているのか伺えたら幸いです。**

A10：2020年度はコロナウイルス感染症に伴う世界情勢で、3名の渡航でしたが、2019年度は11名が1年程の留学に出発しました。アメリカへの渡航が一番多く、AFS・IF・YFUなどの各種留学斡旋業者を通じて、留学に参加しております。本校では、Tazaki財団による英国留学の実績も4名ほどあります。

## 新型コロナウイルス感染症対応

**Q11：以前見学をした際、クラス人数に対して教室が狭い印象を受けました。当時は2人で机を付けて授業をしていましたが、コロナ感染が心配される現在はどのようにして密になることを避けているのか知りたいです。**

A11：出来るだけ座席間隔を広くすること、換気を十分にすること、生徒相互の会話の制限、消毒の徹底、手洗いの徹底、マスク着用、検温の徹底等を行っています。

**Q12：コロナによる休校期間中、学習面でどのような対応を取られていたか教えてください。**

A12：昨年度（2020年度）の分散登校期間中（6月）は、学年毎に半数生徒（クラス単

位)が登校し、一教室20名(定員の半数)で授業を行い、家庭学習においては引き続きオンラインで学習支援を行いました。実験・実習は段階的に実施できるようにし、昨年度(2020年度)の6月下旬には概ね通常時間割での授業展開を再開させることができました。

今年度(2021年度)は、緊急事態宣言時は、3分の2学年登校の分散登校を行っています。3コ学年のうち2コ学年が登校し対面授業を受け、1コ学年が自宅にてオンライン授業を受けました。

Q13: コロナ禍での授業形態・コロナ休校期間中の対応およびICTの取り組みについて伺いたいです。

A13: 昨年度(2020年度)は、臨時休業中(4・5月)は、オンデマンド型の授業・課題配信(Google Classroom)とオンタイムの質問タイムを中心としたOffice Hour(Google Meet)を中心としたオンライン学習支援を行いました。1学年は一人一台コンピュータの環境があります。2・3学年生徒には必要に応じてコンピュータの貸出をおこないました。

A13: 今年度(2021年度)は、1・2学年が一人一台コンピュータの環境で普段の授業を行なっています。分散登校の自宅におけるオンライン授業ではもちろん、通常の対面式の授業でも学習支援や課題の実施などあらゆる授業で活用しています。

#### 学校生活・行事

Q14: 渋谷からバスで通うことは可能でしょうか。

A14: 可能です。

Q15: 自転車で通学することは可能ですか?

A15: はい、可能です。入学後に自転車通学の登録をしてください。

Q16: 合唱祭は数年前に学校側の判断で中止されたそうですが、復活する予定はないのでしょうか。

A16: 合唱祭の復活の予定は今のところありません。

#### 学校案内

Q17: 土日での学校見学会のご予定はありますか?

A17: 現状では予定しておりません。平日9:00-16:00に校内(校舎外)の見学は随時受け入れております。見学できない日時もございますので、本校事務室までお問合せください。

## 入学試験

Q18：各科目の合格者平均点を知りたいです。

A18：合格者の学力検査得点状況につきましては、本校ホームページのトップページより、「入試情報」>「入試情報」>「3 過去の入試状況」>「合格者の学力検査得点状況（平成 30～令和 3 年度）」をご参照ください。なお、各科目の合格者平均点は公開しておりません。

Q19：編入試験は毎年行っているのでしょうか

A19：毎年行うとは限りません。

Q20：県外でも受験は出来ますか？

A20：はい、居住地が東京都以外の方でも受験は可能です。

Q21：願書の配布予定を教えてください

A21：生徒募集要項は、令和 3 年 10 月 1 日（金）より本校ホームページからダウンロードできるようにする予定です。

以上